

(式辞)「なりたい自分を育てる学校」

豊能町の西地区にあった3つの小学校「吉川小学校」「光風台小学校」「東ときわ台小学校」、1つの中学校「吉川中学校」は、令和8年3月31日をもって閉校となりました。

今まであった4校のよいところを新しい学校である本校においても引き継ぎつつ、新しい取組を少しずつ児童生徒のみなさんと先生方とともに進めていってほしいと思っています。

3年前から4つの学校で同じ学校教育目標を決めて取り組んできました。その目標は「なりたい自分を育てる学校」です。

「こんなことできるかな」「こんなことができるといいな」「うまくいかなかったので、別の方法でやってみよう」など前向きに物事を考える時は、自分の立てた目標に向かって頑張ってみようと思うものです。しかしながら、なかなか前向きに物事を考えられない時は、「いやだなあ」「しんどいなあ」「私には無理かも」と思ってしまうものです。失敗して、失敗して、失敗して、その先に「なりたい自分」が見えてくるものです。失敗しても、やり続けて、やり続けて、やり続けてやっとその先の自分が見えてきます。そこまで粘り強く続ける「やり続ける力」を全校のみなさんには身に付けてほしいなあと思っています。

「吉川小学校」「東ときわ台小学校」「光風台小学校」「吉川中学校」で今まで学んできたみなさんなら大丈夫。自信と勇気をもって、この「とよの西学園」で自分の力をこれまで以上に発揮してほしいと思います。先生方とともに一緒にその力をどんどん伸ばしていきましょう。

「とよの西学園」の校章といって、学校を表すマークがあるのですが、そのマークは豊能町の町花である「たんぽぽ」の花をもとにしています。このマークには、「真心の愛」、「幸せ」という花言葉の意味があるそうで、児童生徒のみなさんが、地域の人々の愛情を受けながらのびのびと育ててほしいという思いが込められているそうです。また「とよの西」の西は太陽が沈む方角です。その太陽が沈む時の夕焼けがきれいな豊能町に似合うようにデザインされたそうです。

「とよの西学園」の校章とともに、児童生徒のみなさん、先生方、保護者や地域のみなさんと「なりたい自分を育てる学校」「みんなが幸せになれる学校」をめざして、一緒に取り組んでいきましょう。

令和8年4月10日
豊能町立とよの西学園
校長 内野 慎也